

KAHOKU

かほく市 議会だより



第4号



笑顔

よろこびと感動（桜まつり）

2中学校に 41億9,945万円

CONTENTS 平成17年3月

平成17年度予算を可決	4
質疑・討論	8
一般質問(17人が登壇)	11
常任委員会レポート	20
Watching in かほく	24

平成17年第1回定例会

会期 3月1日～15日

各事業執行で減額の努力

教育事業に市債を充当



補正予算の主なもの

今回の補正は、全体的に年度末における実績見込みを踏まえ、精算が主なもの。

諸収入

新農業構造改善事業地元償還金182万円を増額。教育費雑入223万円などを減額。

市債（借入金）

高松中学校改修事業債4億3千810万円、河北台中学校改築事業債4千670万円、宇ノ気中学校改築事業債6千300万円を増額。河北台健康民体育館増築事業債4千770万円を減額。道路橋りょう債6千200万円などを減額。

一般会計

専決処分の主なもの

平成17年3月1日から15日間の会期で第1回定例会を開催、一般会計予算など43議案を審議し、原案のとおり可決した。
また、固定資産評価審査委員の選任と教育委員会委員の任命に同意。
人権擁護委員の候補者の推薦2件を適任とし、意見書4件を可決した。

高松中学校の耐震・大規模改修事業に伴う設計監理委託料1千370万円を増額。外日角学童保育クラブ員増に対応するため、教室拡張工事に伴う、設計委託料および工事費503万円を増額。

歳入

市税
個人市民税2千950万円、たばこ税1千830万円を増額。法人市民税3千290万円を減額。

地方交付税

2億円の減額など。

国からの収入

高松中学校施設整備費2億3千635万円を増額。児童福祉費負担金2千225万円を減額など。

県からの収入

介護予防・地域支え合い事業費補助金880万円などを減額。

繰入金

財政調整基金繰入金3億7千470万円などを減額。

歳出

議会費

事業確定により、294万円を減額。

総務費

法規等管理事務費856万円を減額。

企画調整事業費中、総合計画策定委託料など1千299万円を減額。

参議院議員通常選挙費570万円を減額。

民生費

障害者等支援費給付事業1千484万円減額。

介護予防・地域支え合い事業915万円、児童手当給付事業2千199万円、保育園一般管理費1千952万円を減額。

高齢者自立支援住宅リフトホーム補助金346万円、生活保護扶助費1千600万円を増額。

衛生費

母子・成人・老人保健事業の検診委託料1千950万円を減額。

ゴミ減量化推進事業250万円などを減額。

労働費

緊急地域雇用創出対策事業委託料110万円を増額。

農林水産費

石川の米づくり推進事業補助金183万円、農道整備事業負担金785万円を増額。

市単土地改良事業578万円、担い手育成基盤整備事業負担金1千600万円を減額。

商工費

ISO取得支援補助金100万円を減額など。

土木費

消雪ノズル点検業務委託料1千100万円、地方特定道路整備事業3千145万円、雪寒対策事業1千95万円、河川改修事業1千487万円、都市計画街路事業負担金2千650万円を減額。

消防費

地域防災計画策定委託料、高規格救急自動車購入費など644万円を減額。

教育費

小学生全員に防犯ブザーを購入97万円。

国の公立学校建物大規模改修事業に採択される見込みとなったため、高松中学校耐震工事費6億150万円、同設計監理委託料1千50万円を増額。

災害復旧費

農業用施設災害復旧費など189万円を減額。

公債費（借入返済）

減税補てん債借換分1千854万円、改革推進公共投資資金貸付金償還金2千771万円を増額など。

特別会計

市営バス事業特別会計

バス運賃収入110万円を減額。

営業一般管理費101万円を減額。

墓地特別会計

墓地永代使用料373万円の減額。墓地基金繰入金など347万円、墓地維持管理費25万円を増額。

大海財産区特別会計

林業公社造林事業収入192万円、造林委託料など272万円を減額。財産造成基金積立金458万円を増額。

下水道事業特別会計

公共下水道使用料1千万円、改革推進公共投資事業貸付金償還時補助金800万円を増額。一般会計繰入金4千500万円、公共下水道事業債9千930万円など減額。管渠測量委託料602万円、JR横断工事委託料1千836万円、管渠工事費8千944万円など増額。

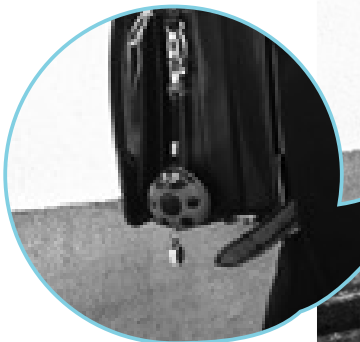
人事案件

4委員を選任

◆固定資産評価審査委員会の委員の任期満了により、川淵崇由氏（指江）の再任に同意した。

◆教育委員会の委員の任期満了により、鮎田仙平氏（天崎）の再任に同意した。

◆人権擁護委員の任期満了により、坂野俊紀氏（白尾・再任）と遠藤他代美氏（七窪・新任）を推薦することを適任とした。

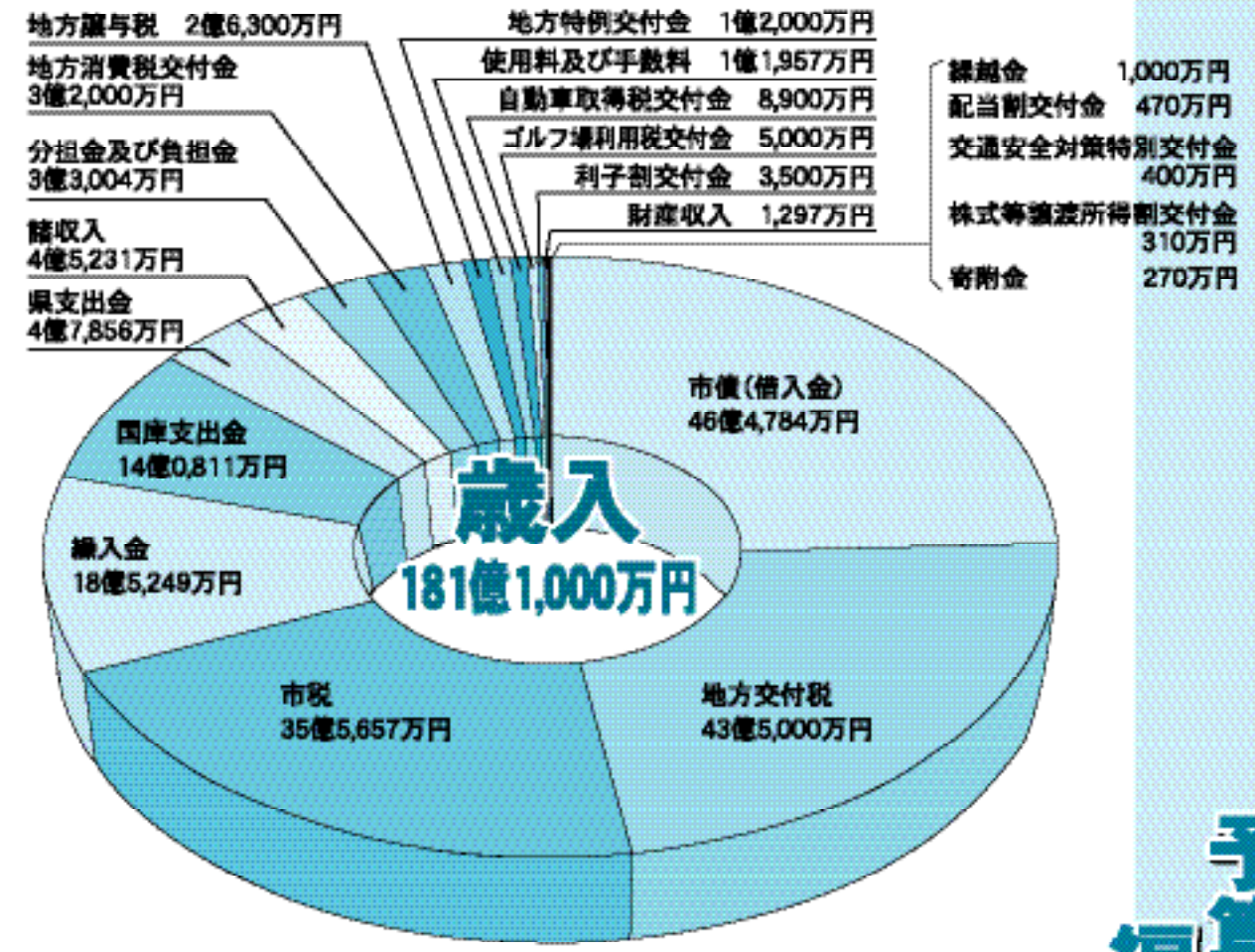
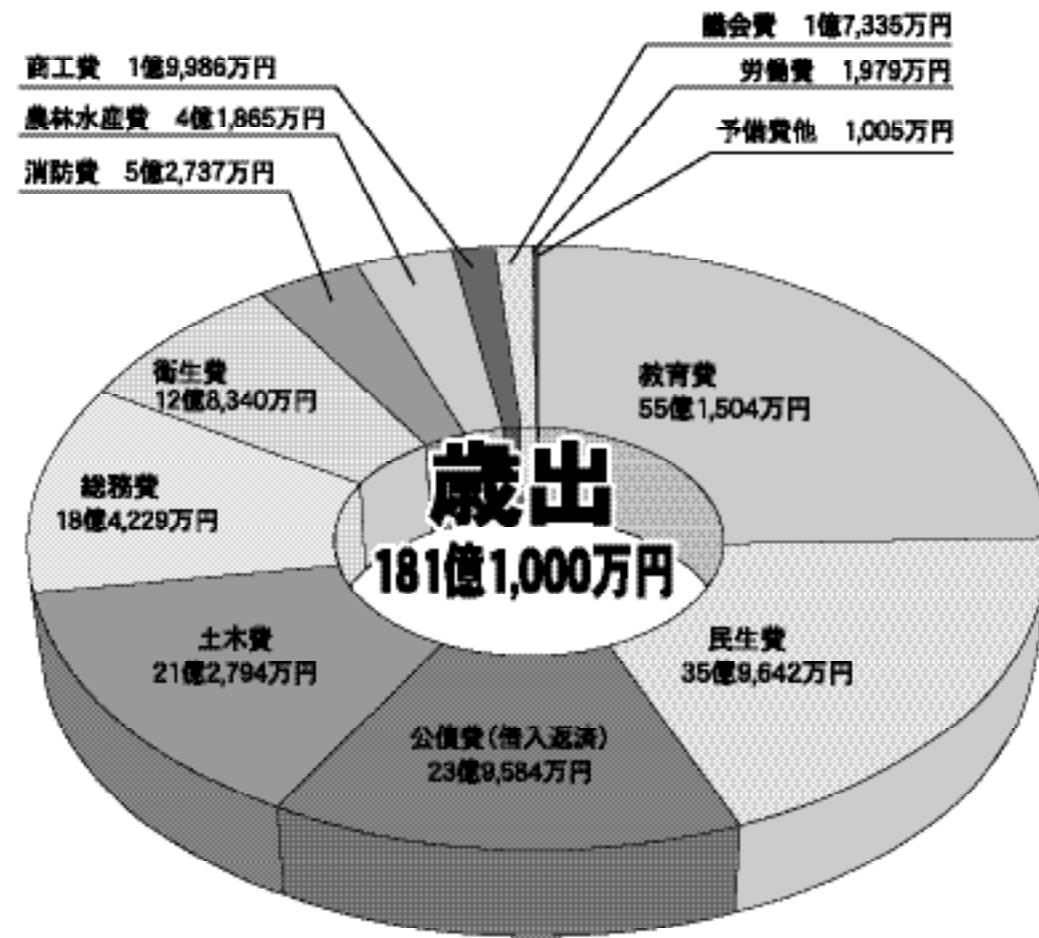


てんとう虫さん、守ってね。

平成17年度 一般会計予算

宇ノ気・河北台 41億

中学校完成に向けて 9,945万円を認める



特別会計予算

土地取得特別会計	1,710万円	下水道事業特別会計	35億9,700万円
市営バス事業特別会計	2,670万円	宅地造成特別会計	1,581万円
墓地特別会計	1,730万円	水道事業会計	(収益的収入) 7億2,412万円
国民健康保険特別会計	29億9,700万円		(収益的支出) 7億0,958万円
老人保健特別会計	38億1,350万円		(資本的収入) 2億8,060万円
介護保険特別会計	23億5,270万円		(資本的支出) 5億5,837万円
大海財産区特別会計	630万円		

- 土地取得特別会計
土地開発基金積立金
- 市営バス事業特別会計
バス運行の負担金・補助金・運営収入
- 墓地特別会計
墓地公園の管理費・借入金・元利償還金
- 国民健康保険特別会計
医療費の保険給付費・老人保健会計への負担金
- 老人保健特別会計
受給者の医療に関するもの
- 介護保険特別会計
介護サービスに関する徴収と給付
- 大海財産区特別会計
林業公社への造林委託事業
- 下水道事業特別会計
下水道事業の工事費・維持管理費
- 宅地造成特別会計
宅地分譲地売払事業
- 水道事業会計
上水道事業の工事費・維持管理費・整備計画策定経費

特別会計の主な内容



予算説明する市長

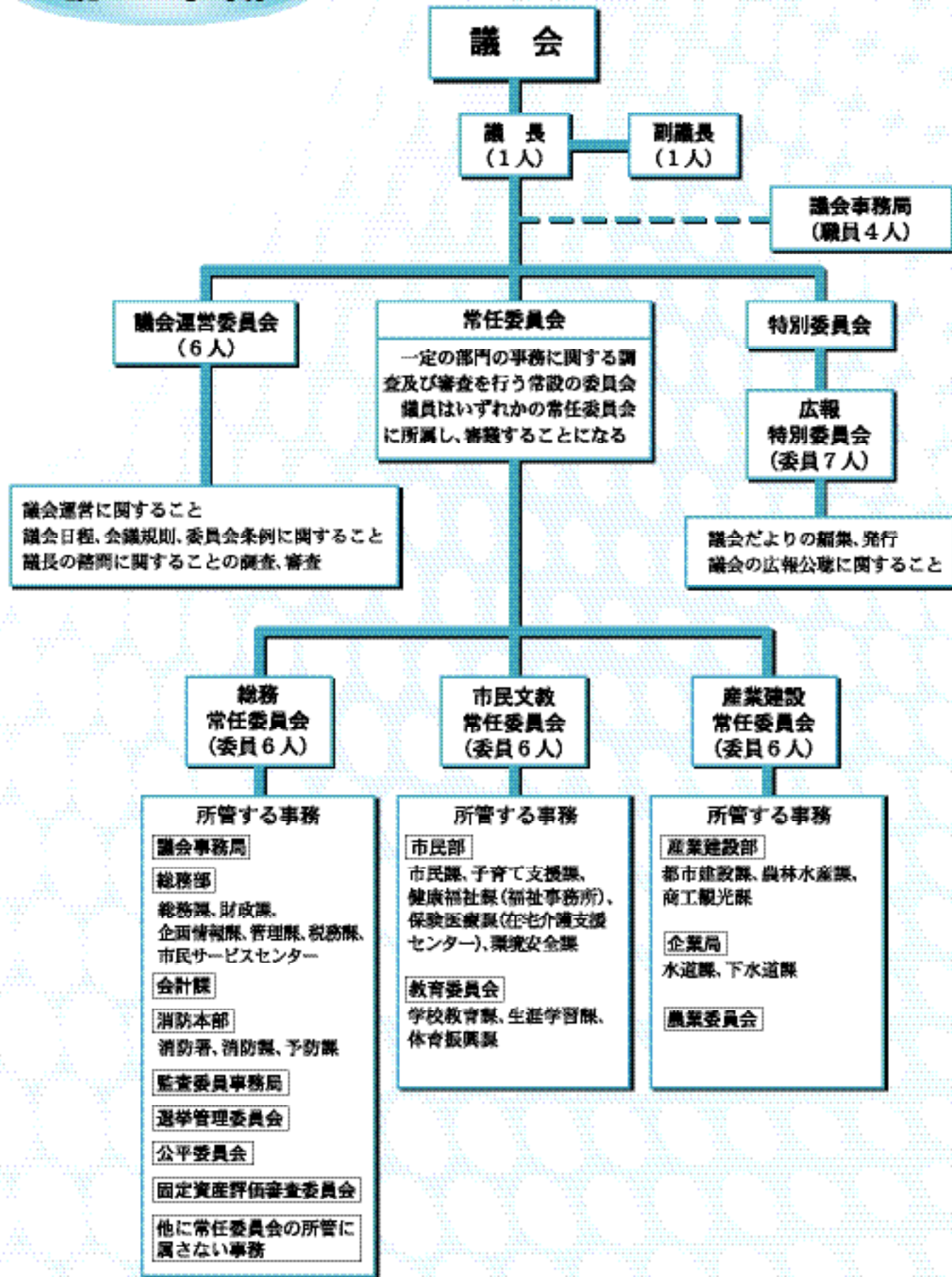
昨年4月、市長に就任し、改めて合併の大変さを身にしみて感じている。旧3町で長年にわたって築き上げた、歴史、文化、伝統を尊重し、新たな一つの市として進んでいかねければならないと思う。

平成17年度が、市発展のために大変重要な年になると考えている。総合計画策定や行政改革大綱を定め、基礎をしっかりと固めた上で、住んでみたいと感じるまちづくりのための施策に取り組みたい。

厳しい財政状況の中、歳入の確保に最大限の工夫と努力をし、将来に向け、市発展のため、新規事業に可能な限り取り組みたい。

予算の 編成方針

新しい組織



新議員を待つ



議場



改装され議員控室に

期待される新議会

合併により、在任特別の適用を受け、44人で構成されていた議会は、平成17年4月30日任期満了となった。先に行われた、かほく市初の市議会議員選挙で、18人の議員が決定した。今後、常任委員会が4から3に、各委員数は6人となる。

変更する主な内容

市議会議員報酬

報酬については、次の金額に改正した。

議長	月額	44万0千円
副議長	月額	37万5千円
議員	月額	35万5千円

議会の運営に関すること

各委員の数を議会運営委員会は9人から6人に、広報特別委員会は9人から7人に、会議の開催時間を拡大し、午前10時から午前9時に開会できるようにした。

一般質問の持ち時間を、20分から30分に拡大した。

その他

議場は本庁舎2階となる。旧共同福祉施設(市役所本庁舎横)の2階が議会議場となり、正副議長室、議員控室、議会事務局などが移転する。

質疑・討論

定例会に提出された議案に対して1議員が、また、常任委員長報告に対して2議員が質疑を行った。さらに、一般会計予算などについて、5議員が反対、賛成の討論をした。

情報どおりの

入札結果に憤慨

社へ代行買収の委託をして、用地2千314平方メートルを、平成25年まで分割して償還するもの。旧高松町時代の土地区画整理地内に、健康増進を目的とした用地として取得したものが、その隣接する用地買収である。

Q 大海地区の保育園建設の入札で、談合の通報があった。

一般的に知るはずのない情報を知り、情報どおりの落札結果となったが、市民が納得できる説明を求めた。
A 中田総務部長 市として無視できないとの判断で、対応を協議し、入札を直ちに延期をする措置をした。調査委員会では、協議などはなかったか、1人ひとり全部確認をとった。すべての方が、そういう事実

一切ないとのことで判断し、誓約書もとった。通報した方からは、参考になるデータや、物的証拠の提出一切がなかったことから、談合がなかったものとの結論で、入札を執行した。

糺地哲議員

高橋成典議員

Q 指定金融機関の派出事務委託料について、経緯と審議の内容を説明せよ。

A 福村穰総務常任委員長 銀行協会から要望書が出されており、河北郡市でも昨年の収入役会で協議決定し、内灘・津幡町とも相談した結果である旨の報告があり、妥当と認めた。

Q 議員報酬改正について、審議会より類似市との人口などを参考にしたことだが、報酬、期末手当についてどのような審議がされたか。

A 福村委員長 特別報酬等審議会答申で類似市町村、特に羽咋市を参考とし、期末手当の率は、県内各市と同率。

Q 派出事務委託料で、県は使用条例で使用料をとっているが、市は無料でサービスをするのか。

銀行はほかにもあり、委員会でのように審議されたのか。
A 福村委員長 いろいろな意見もあったが、河北郡市収入役会で、内灘、津幡も足並みをそろえることになったとの報告があったので委員会は了解した。



納得できる説明を

高橋成典議員

Q 看護大学周辺の約3千300坪の土地開発公社所有地は、多目的福祉施設用地としての買収で、10年間かけて分割で購入する予定となっているが、詳細に説明せよ。
A 西市民部長 多目的福祉施設の用地は、土地開発公



反対討論

国保税を引き下げよ



高橋成典議員

一般会計の、公有財産購入費は、先に土地の購入ありきで、説明が足りない。派出事務委託料は、場所代を取らないで、銀行に経費を支払うのは道理に合わない。

七塚観光の経営支援補助金は、保証人である市長の責任問題など明確にすべき。西田記念哲学館の喫茶業

務委託料は、委員会で指摘されながらの計上で認められない。

歳入の消費税寄付金と公民館改修寄付金は、地方財政法に反する。割り当ての寄付はやめるよう求める。各公民館の火災保険料は、市の責任で負担すべき。議員報酬の一部を改正する条例については、人口規模から津幡町程度にすべき。市の国民健康保険税は全国的に見ても高く、引き下げるべきだ。

賛成討論

細かに配慮された予算



鶴見 静朗議員

平成17年度の一般会計当初予算は、前年度比で14億4千万円増、8・6パーセント増で、河北台中学校、宇ノ氣中学校建設費を除くと0・2パーセントの増。

三位一体の改革で、市を取り巻く財政状況は厳しく、急速な改善が望めない中、「サービスは高く、負担は軽く」との合併基本方針に沿い、河北台中学校、宇ノ氣中学校の改築事業、大海保育園建設事業など、今後の市発展の基盤作り及び大崎地区子育て支援センター設置など、細かな配慮がなされた。

また、将来に向けて、市総合計画策定及び中越地震を教訓とする市防災計画の策定など、定住促進化や人

口増加策、住んでみたいと感じるまちづくりのための施策が随所に織り込まれており、現時点での市財政状況を考え、妥当であると評価する。

反対討論

いきなりの予算付納得いかない



國友 憲議員

派出事務委託料を、いきなり予算付けするには納得できない。

議員報酬は、議員自ら奉仕の精神を忘れてはいけな

い。市財政のためにも、一度に上げるのではなく、徐々に上げるべきだ。

賛成討論

性急な民営化には疑問



坂野由和議員

郵政民営化そのものの賛否は賛成52・9パーセント、反対32・7パーセントと、将来の民営化については支持されているが、十分な議論がない中での、性急な民営化には疑問を抱かざるを得ない。

地方議会として政府及び関係機関に、十分な国会での審議を行うように求めることは、地域に密着した問題との観点から、地方議会人として、意見書提出をすることは極めて当然のことと捉える。

反対討論

遅らせるな民営化



富澤明次議員

政府が行なおうとしている郵政民営化に対し、この意見書は単に遅らせることであり、反対となってしまうような取り組みには納得できない。

情報化の時代、いろいろとそれに替わる地域格差の埋め合わせができる。

議員提出の 意見書

北朝鮮による拉致事件の真相究明と全面解決を求める意見書

国において、拉致事件を日本の主権と日本人の人道にかかわる問題とし、毅然とした態度で北朝鮮に真相究明を求め、「特定失踪者」の解放と永住帰国など、拉致事件の全面的な解決に向けて、全力で取り組むよう強く要望する。

(全員賛成)

提出議員 澤本 正一
賛成議員 長谷 久人
坂本 昭雄
新藤 豊明
西田 正剛

平和都市を宣言する決議

唯一、核兵器の恐ろしさを体験した国民として、核の悲惨さを忘れず、恒久平和と核兵器の全面禁止・廃絶と、その実現に向けて、邁進していかねばならない。限りなく平和を希求し、国際親善を深め、人類の友好と繁栄を築くべく、ここに、「平和都市」となることを宣言する。

(全員賛成)

提出議員 西田 正剛
賛成議員 國友 憲
杉本 正一
富澤 明次
山口博之丞

対象疾患に指定(難病指定)し、研究を進めると同時に、一日も早い治療法発見を求める。

(全員賛成)

提出議員 松原 達佳
賛成議員 高橋 成典
桜井 末男
寺内 照雄
坂野 由和

国民のための郵政事業改革を求める意見書

郵政事業改革の内容が真に国民のためのものとなるよう強く要望するもの。
1 国民生活・国民経済に著しく悪影響を与えるような改革を実施しないこと。
2 国民が参加・理解・納得できる方策を講じること。
3 拙速な民営化会社の制度設計や法案の提出は控えること。

(賛成34・反対8)

提出議員 宮村 敏雄
賛成議員 多々見 武
坂井 正朝
森 大輔
鶴見 静朗

請願

委員会て不採択

本会議は採択

国民のための郵政事業改革

地方住民の声を十分に傾聴し、国民が参加・理解・納得できる方策を講じることが政府に求めるもので、採択とした。

(賛成35・反対6)

提出者 長柄町レ18
森 博治
長谷 久人

陳情

提出者

東京都港区西新橋1-17-14
日本国家公務員労働組合連合会
中央執行委員長
堀口 士郎

「非核・平和かほく市宣言」採択の陳情

非核平和都市宣言を決議し、核兵器廃絶、核戦争防止のための施策を求めるもので、採択とした。

(全員賛成)

提出者 金沢市泉野町2-17-6
非核の政府を求める石川の会
代表世話人 五十嵐正博

提出者

輪島市二ツ屋町2字29
輪島市議会議員
坂本 賢治

「市場化テスト」や「給与構造見直し」に反対する意見書の採択を求める陳情

行政サービスの確保に必要な権限と財源確保をすること、公務・公共サービスの民営化や市場化テストは行わないこと、公務員賃金の地域格差の導入は行わないことを求めるもので、行政改革に逆行する内容が含まれており、不採択とした。

(賛成3・反対39)

北朝鮮による拉致事件の真相究明と全面解決を求める意見書提出の陳情

拉致事件に係る真相究明と全面解決を求めるもので、採択とした。

(全員賛成)

提出者 かほく市高松ク19番地13
かほく市議会議員
竹内 幹雄

一般質問

任期最後の議会

熱き想いを胸に

17人が登壇

大海川再生を願う

県に要望する



多々見邦次 議員

Q かつて宝達山から清流が流れていた、大海川の再生を県に働きかけよ。

A 油野市長 近隣市町と協議して、森林や農地の保水力を向上させ、魚類の遡上に配慮した新型砂防堰堤の設置、周辺開発の指導・監督を県に要望する。

Q かほく縦断道路が一部開通し、日増しに交通量が増加している。これに伴い、駐車場などで放尿している姿が見られる。

A 市長 上下水道整備が必要になり、建設や維持管理



ヤッター!! つかまえたぞ!! (リバーフェスタ)

など財政面を考慮して調査検討し、県に要望したい。

Q ケーブルテレビ網の整備について、どのように考えているのか方針を示せ。

入を模索し、詳細な整備計画を作成する。

A 市長 地域活性化に結びつくケーブルテレビ網の導



すくすく育てと願う

「次世代育成支援行動計画」を策定中。

Q 教育問題における

- ①歴史教科書
- ②道徳教育

③読み書き修得調査の結果について、どう考えるか。

A 遠田教育長 ①河北郡市で協議会を設置し、十分に調査、研究をしていく。②学校生活すべての時間において、統一的な目標のもとに指導している。

③朝自習を15分実施し、補習や家庭学習にも力を入れ、図書館司書の協力も得て、学力向上を計っている。

Q 少子化傾向は、ユニークな発想と施策で、変えられる。

A 油野市長 「子育てお役立ちブック」の作成、色々な保育の充実と、子育て支援センターの設置など、



高井秀司 議員

市独自の少子化対策は

次世代支援計画を策定

『イオン』誘致はまちこわし 地域間競争に勝ち残るため



高橋 成典議員

Q 国税の減免規定と被保険者証のカード化を実施せよ。

A 市長 具体的な減免基準を示し、平成17年度の国民健康保険から適用。保険者証カード化は他市町の動向を見極めて考える。

Q 七塚観光桝への、公的資金の支出と保証人の責任は。

A 市長 支援中止は、かえって市の負担が大きくなる。

Q 中小小売店との共存共栄を根本から否定するイオン誘致だ。

A 油野市長 イオン進出が、まちづくりのための好機である。地域間競争に勝ち残るためにも、受け入れていく必要がある。

Q 不況対策と市活性化をはかるため、住宅リフォーム助成制度を実施せよ。

A 市長 財源などの課題があり、現状では難しい。



より人にやさしく (住宅リフォーム)

老朽化した市営住宅は

住宅マスタープランで進める



國友 憲 議員

Q 中沼団地の現状と市営住宅の今後のあり方について問う。

A 油野市長 老朽化が進んでおり、空き家になれば、順次解体を予定。今後、市住宅マスタープランで検討する。

Q 介護保険料の財源について、市長の考えは。

A 市長 65歳以上の保険料は、市の事業計画に基づき算定。また、40歳から64歳までは、医療保険者の率により、医療分と同時に徴収するもので、関与できない。負担は増加しており、国へ



老朽化が進む (中沼団地)

要望している。

Q 身障者医療費の助成制度で、3級も現物給付する考えはないか。

A 市長 医療機関との独自のシステム開発が必要。非常に困難。



『ヤーッ!!』(高松創作太鼓)

Q 市内には先人が築いてきた伝承芸能がある。文化的財産を継承していくための振興策は。

A 油野市長 文化財保護審議会の意見を聞き、伝承芸能の掘り起こしに努め、地

域の文化遺産として適切に対応を図りたい。

Q 総合計画に、市文化ホールの建設を組み込めばどうか。

A 市長 市内には看護大学の講堂、哲学ホール、また、改築中の河北台中の講堂には535席あり、これらの施設の利用も可能である。現在のところ総合計画に組み込みは考えていない。

Q 4m未満の道路整備のトラブルをなくするために、条例制定を。

A 市長 一体的な道路整備がなかなか進まない実状であり、条例制定までに至っていない。当面は適正な指導に努める。



澤本 正一 議員

伝承芸能の振興を

文化遺産として対応



人出でにぎわう桜まつり



沖津千万人 議員

企業誘致の対応は 情報収集に努める

Q 誘致した企業のフットロ
ーはどうかっているか。
A市長 今後、誘致した企
業と接触を重ね、情報収集
をすることで新たな投資に
結びつきたい。

Q 企業誘致する上で、ま
た、市民のインターネット
通信網整備からも、光ファ
イバーは必要と考えるが。
A油野市長 高速で大容量
の光ファイバーを利用した
高速通信網の整備は、地域
活性化、企業誘致を進める
上で、非常に重要なことで
あると考えており、光ファ
イバー網の導入整備を今後
検討していきたい。

Q 桜まつりに合わせて記
念植樹を。
A市長 桜ロードや、桜の
森となるような場所を選定
し、今後、記念植樹を検討
したい。



小山 廣助 議員

イオン進出での事業者対策は 商工会とともに支援

立案、提案を積極的に受け
入れる体制づくりに努める。

Q 男女共同参画の行動計
画を策定せよ。
A市長 行政の役割として
条例の制定、アクションプ
ラン策定を検討していく。

Q イオン進出による、小
売業者への支援対策を。
A油野市長 当初予算に、
小売業活性化事業として商
業者支援相談、商店のイメ
ージアップを図る運動の展
開、商業環境整備事業とし
て、市内での商品購入を推
進する活動に補助金を計上
した。商工会と連携して支
援を進めたい。

Q 総合計画策定にあたり、
住民ニーズを施策に生かせ。
A市長 市民アンケートの
データを職員が5分科会に
分けて検討している。事務
事業の合理化、改善などの



男女共同参画フォーラム (西田哲学館)

認知症の支援策を示せ 家族の負担軽減を図る



森 大輔 議員

Q 認知症を早期発見し、
予防するための対策を示せ。
A油野市長 市広報3月号
に認知症予防(特集)を掲
載した。

また、看護大学地域ケア
総合センターが中心となり、
認知症予防活動のポランテ
ィア「いちご会」を立ち上
げ、予防活動を実施してい
る。

Q 認知症患者を持つ家族
に対して、どのような支援
をしているか。
A市長 在宅介護支援セン
ターで、家族介護者教室を
実施している。



いつまでも健康維持

認知症対応型の通所介護
で症状を改善させ、家族の
負担軽減を図り、入浴や食
事提供なども行う予定であ
る。

Q 定住人口の増加策とし
て、子どもの医療費負担を

軽減させるサービスの考え
は。
A市長 乳幼児医療費助成
の対象年齢拡大が考えられ
るが、多額の一般財源を要
するので、現段階では困難。



民話に残る御手洗池



新藤 豊明 議員

Q 大谷川・宇ノ気川の雨
水排水対策調査費を当初予
算に盛り込むか、早期に補
正予算を組むべきか。
A油野市長 河北潟周辺の、
2市2町と連携を深め、国・
県と協議していきたい。

Q 30人以下学級実施が困
難ならば、当面、35人以下
学級の導入を検討すべきか。
A遠田教育長 新1年生で、
外日角小学校は35人学級を
実施。高松小学校は支援講
師を導入。
Q 故桜井祐男先生は、先
駆的な教育者であり、顕彰
すべきだ。
A遠田教育長 市民に、認
められることが必要だ。

Q 横山の由緒ある御手洗
池を、将来に向けて管理す
る抜本的な改善策の検討を。
A市長 今後とも、区と協
議していきたい。

大谷川・宇ノ気川の雨水排水対策 調査費を早期につけよ

国・県と協議



建設が進む宇ノ気中学校

Q 新庁舎建設の是非は。
A 市長 議会から、提案があれば取り組まなければならないと思っ



寺内 照雄 議員

目玉になる施策は 中学校2校の建設

Q 新年度予算案の目玉は。
A 油野市長 両中学校の建設、子育て支援、高齢者福祉を重点施策とした。

人工リーフの見通しは 9基のうち4基完成



杉本 正一議員

Q 市民に対し内灘料金所での割引はできないのか。
A 市長 市独自の割引制度はできない。道路幅員の狭い木津地区では朝晩混雑している。

他の自治体と連携を深めながら、料金の軽減、早期無料化を県に要望する。

Q 白砂青松を守る、人工リーフの見通しは。
A 油野市長 平成14年から10年計画で9基の予定。現在4基完成。1基は工事中。河北・なぎさ千里浜海岸保全期成同盟を柱に関係機関に働きかけていく。

Q ダブルラダー構想はどこまで進んでいるのか。
A 市長 合併支援道路のJR横断東西幹線道路ルートは、県で検討中で未決定。河北縦断道路は18年度末に、上山田地区まで開通予定。



急げ、人工リーフ

障害者の雇用対策は 企業に働きかける



多々見 武議員

Q 市役所の障害者雇用数と法定雇用率（就業）の実態は。雇用率未達成企業への指導の考えは。
A 市長 身体障害者手帳交付者、1千313人、療育手帳交付者198人、精神障害者保健福祉手帳交付者78人となっている。

障害者雇用数は4人で、法定雇用率は教育委員会では達成しているが、市長部局では達成していない。
市内企業の状況については回答が得られず、未達成企業への指導は、あくまで公共職業安定所の権限である。市としても企業に働き



望まれる積極雇用

かけを進めたい。

Q 商工会福祉事業に補助を出す考えは。
A 油野市長 空き缶拾いなどのボランティア清掃や福祉施設への慰問などを行っているが、これは地域貢献

であり、市の補助対象にはならない。



荒井三喜雄 議員



日本一をめざして（大崎スイカ）

Q 特産物の特設コーナーなどを設置し、商品化を目指して、広くアイデアを募集し、賞を与えるなどの考えは。
A 油野市長 指導、支援や消費者ニーズを考慮したアイデア商品開発、工業試

Q 養殖漁業を目指し、活性化に手助けをする考えは。
A 市長 設備投資、維持管理、コスト面で、まだ一般市場に供給されるまでに至っていない。

験場の技術指導やアドバイザー、講師派遣などを行っている。
要請があれば、商工会と連携し支援したい。

Q 砂丘地の荒れた畑地を利用した、ブランド品づくりに対し、支援をする考えはないか。
A 市長 現在ある制度を広報などで周知徹底し、利用権設定の促進を図る。

パイプ役として、努力を重ねていく。

農産物のブランド化に支援を 制度利用を徹底したい



新規購入の高規格救急車



梅田 範文 議員

消防署の統廃合 5分以内で現場へ 総合的に判断したい

Q 消防署を統廃合すると、「5分以内で現場へ」の目標が達成できないのでは。
A 油野市長 検討に値する。アクセス道路整備が第一で、総合的に判断したい。

Q 火事や事故の時の、消防と警察の連携は。
A 市長 警察署、交通安全推進隊、防犯委員などに協力を求め、渋滞の緩和に努力している。

Q 防火水槽の蓋盤設置、地下式タンク整備の考えは。
A 市長 転落や衛生面も考え、順次蓋盤を設置していく。場所により、地下式タンクも必要。

Q 交通事故などの対応は。
A 松居消防長 通報者が指示に従い対応できるように、普及・啓発をしていく。

Q 防災無線の取り組みは。
A 市長 大規模な自然災害に備えて、導入すべきと考える。



西田 正剛 議員

人口増、 税収増の対策は 魅力あるまちづくりが重要

Q シルバー人材支援のあり方、経験や知恵を引き出し生かす施策は。
A 油野市長 高齢者が組織的に働くことで健康を保ち、生きがいを持って地域社会に貢献する「自主・自立・共働・共助」の理念が基本。

市として活動の場、機会を広げたい。

Q 市民サービスのあり方、職員教育についての考えは。
A 油野市長 全職員に接客対応マニュアルを配布。自己啓発研修の実施でサービスの充実に努める。

Q 市内業者の育成により、地域の活性化、人口増、税収増が期待される。
A 市長 新規産業の創造、育成、既存産業の活性化も含め、魅力あるまちづくりが重要で、市外からの人口流入策も念頭に検討したい。



笑顔で対応（窓口業務）

市職員の適正配置をはかれ 機構改革で実施



坂野 由和 議員

Q 市民サービスの、一層向上のため、職員適正配置についてどう考えるか。

A 市長 サービス向上を図るため、適正な職員配置による機構改革を実施。

Q 河北台商業高校跡地を市が取得して、老人ホーム、介護施設、保育所などの社会福祉施設をNPO法人などに事業運営委託をする考えはないか。
A 油野市長 30年以上経過の老朽化危険建物であり、現状のまま利用するのは困難。



親子でジューシー（うみっこらんど）

Q 市の負担になっている、うみっこらんどを民間に委託することで、年間負担が少なくなると思うがその考えは。
A 市長 設置目的が達成され、かつ、市の委託料が減少し、営利目的のみを事業内容としない条件であれば、民間活力の導入も。

ほかの施設でも検討していきたい。

Q 市の有名な偉人と地元の特産品を絡めて、全国展開するための助成を考慮する考えは。
A 市長 商工会と連携しながら特産品や観光のPRに努める。

地球温暖化防止の取り組みは 環境ISO活動を推進



富澤 明次 議員



自然の恵みを活かして

家庭・事業所にも浸透していくよう努めたい。
河北郡市広域事務組合のリサイクルプラザが完成すると、ごみ収集の方法が大幅に変わる。より分別資源化が求められる。市民の協力、理解を得たい。
Q 風力発電の建設に条例整備をしては。
A 市長 現在のところ建設の計画が無く条例整備も特段必要ないと考えるが、騒音や振動など環境面の基準について調査研究したい。

Q 市の地球温暖化防止の施策を示せ。
A 油野市長 旧宇ノ気町から引き継いだ、環境ISO活動を展開しており、行政全体が環境への負荷の低減を図り、事業所のISO認証取得の支援を行うと共に、

平成17年度当初予算、16年度一般会計補正予算、条例、請願、陳情など、付託された議案審議のため、総務、福祉文教、市民環境、産業建設の各常任委員会を開催した。

派出事務委託料は適切か



審議中の委員会

おもな質疑

新藤委員 議員報酬、期末手当の条例改正は、適正か。収入役を助役が兼務するという考えはあるか。
森田総務課長 報酬は、特別報酬等審議会に諮ったもの。
加算率は、県内の市が同率を適用。
油野市長 収入役を置かないことは各自治体の判断。

現体制で土台を作り、市発展のために、その役目は重要。
杉本委員 税の前納報償金は、今後どうなるのか。
山口税務課長 全国的には、縮減廃止の方向。検討が必要。

澤本議員 担い手育成基盤整備事業の起債を詳細に。
坂坂企画財政課長 一般公共事業債で、50パーセント

が交付税で措置される。
國友委員 派出事務委託料とは。

坂坂課長 公金取扱業務の、銀行員1名派遣に対する人件費相当分。

富澤委員 管理公社とシルバー人材の使い分けは。
架谷助役 管理公社は、作業員を雇用し、基本的には65歳まで。シルバー人材センターは、業務の内容を見極めた活用を検討。

長谷委員 ギガラネットと情報セキュリティ対策の委託料を詳細に。
坂坂課長 情報の安全化の取り組みを定めたマニュアル。県の通信網で、県と市が調査など情報のやり取りをする。

坂本委員 東京宇ノ気会など運営助成は一本化できないか。
坂坂課長 団体の規模、活動内容、予算に差があり、同じ扱いができないと判断し、旧町単位の組織への補助金は廃止したい。経過措置として計上したものを。

◆17年度一般会計予算 (賛成7・反対2)

審議の結果

- ◆外国の地方公共団体の機関等に派遣される職員の待遇等に関する条例の制定 (賛成8・反対1)
- ◆会議員の報酬、費用弁償等に関する条例の一部改正 (賛成6・反対3)
- ◆17年度土地取得特別会計予算
- ◆17年度墓地特別会計予算
- ◆17年度宅地造成特別会計予算
- ◆一般会計補正予算
- ◆墓地特別会計補正予算
- ◆名誉市民条例の制定
- ◆表彰条例の制定
- ◆個人情報保護条例の制定
- ◆人事行政運営等の状況の公表に関する条例の制定
- ◆長期継続契約とする契約を定める条例の制定
- ◆職員勤務時間、休暇等に関する条例の一部改正
- ◆特別職の職員で非常勤のもの報酬、費用弁償等に関する条例の一部改正
- ◆税条例の一部改正
- ◆公の施設の指定管理者の指定
- ◆石川県市町村職員退職手当組合規約の変更 (以上全員賛成)

請願

国民のための郵政事業改革の意見書を政府に提出す

ることを求める請願については、時期的にそぐわないとして、賛成少数で、不採択。
(賛成4・反対5)

陳情

「非核・平和かほく市宣言」採択を求める陳情については、全員賛成で採択。
「市場化テスト」や「給与構造見直し」に反対する意見書の採択を求める陳情については、賛成少数で不採択。
(賛成1・反対8)

北朝鮮による拉致事件の真相究明と全面解決を求める意見書提出の陳情については、全員賛成で採択。
委員名
委員長 福村 穰
副委員長 西田 正剛
長谷 久人
眞田 善作
坂本 昭雄
國友 憲
新藤 豊明
澤本 正一
杉本 正一
富澤 明次
山口博之丞

知恵が求められる

多目的福祉施設用地

おもな質疑

高橋委員 土地開発公社が、3億5千万円をかけて4千坪を多目的福祉施設用地として確保し、今後10年間で分割購入するが、具体的に何をつくるのか。
西市民部長 健康と福祉のまちをつくる計画になっている。

油野市長 今後、どのような形にするのかは、市民の意見を聞きながら進めたい。
坂野委員 小学校の女子トイレが休憩時間に順番が回ってこなくて使用できない。建設中の2中学校も、これを踏まえて増設したらどうか。

松本学校教育課長 財政と相談して修繕していく。
多々見委員 教育センター職員の人選は、学校や行政

多目的福祉施設予定地



の経験者を配置せよ。
遠田教育長 意向に沿って選びたい。

松原委員 建設中の2中学校の工事の進捗状況と、建設費の増額はないのか。
松本課長 約30パーセントの進捗で、工事費は、予算の範囲内で納まるように努力する。

宮前委員 嘱託職員の賃金が多いが、変わって仕事ができないか。
油野市長 新しい組織で調整し、人員削減に努めていきたい。
坂井委員 第1、第2学校給食センターを民間に委託したらどうか。

油野市長 民間に委託する範囲は、当然考えていくが、すぐ職員減につながることは難しい。

小山委員 予防接種委託料の内容は何か。
杉本健康福祉課長 子ども中心のものと、高齢者のインフルエンザが主なもの。

宮村委員 合併して、統一された社会福祉協議会の活動は。
杉本課長 民生委員、老人クラブおよびボランティア事業などに関するすべての活動。

審議の結果

- ◆17年度一般会計予算 (賛成9・反対1)
- ◆17年度国民健康保険特別会計予算 (賛成9・反対1)
- ◆17年度老人保健特別会計予算 (賛成9・反対1)
- ◆17年度介護保険特別会計予算

陳情

「進行性化骨筋炎」の難病指定を求める陳情については、全員賛成で採択。
委員名
委員長 荒井三喜雄
副委員長 松原 達佳
宮前 幹雄
高橋 成典
小山 廣助
坂井 末男
宮村 敏雄
寺内 照雄
坂野 由和
高井 和則
多々見 武

保育園の統廃合

検討委員会を早く

おもな質疑

竹内委員 保育園の統廃合で、予定している整備検討委員会は、どんな方向で、調査をしていくのか。
高橋市民課長 旧高松町では3カ所、旧宇ノ気町では5カ所という調査結果が出ており、委員会を立ち上げてから地域性も考慮し、検討に入りたい。
高井委員 弁護士委託料を計上しているが、弁護士側は了解済みか。携帯からの119番の通報の件も詳細に。
高橋課長 毎月1回の予約をとり、30分5人分という枠で相談を受ける予定。問題を解決するまでのものではない。
羽田消防課長 現在は、いったん金沢へ通報が入ってから消防本部へ伝えられる。平成18年の3月からは、県下一斉に直接受信できる。

杉本委員 広域窓口サービスの利用件数は何件か。また、時間外交付ができるのか。
高橋課長 16年度実績では、旧3町で、他市町の方の申請された件数が547件、市民が他町で申請をした件数が966件。年々、増加の傾向。時間外の交付は、事前連絡の場合、できる限りの対応をしている。
表委員 太陽光発電の補助は、また、何軒分を見込んであるのか。
岡本環境安全課長 1軒上限9万円までで10軒分を見込んである。
森委員 宇ノ気学童保育クラブで60人の見込みが32人になったというのは、なぜか。
高橋課長 夏休みころから自宅留守番ができるようになったのが主な要因。
細井委員 学童保育予算で、

社会保険料の対象は児童か職員か。
高橋課長 職員の社会保険厚生年金など。
猪村委員 火災予防条例の一部改正で、一般家庭にどんな影響があるのか。
宗藤予防課長 大企業の産業災害防止対策のため、強化したもので、一般家庭には影響ない。
金田副委員長 松浜地区の死亡事故は白尾インターの100円徴収による、交通量の増加が要因。県道の拡幅が済むまでは、徴収をやめるなど、県の方に強く要望すべき。
油野市長 国道の拡幅や、河北縦断道路など、交通の流れを緩和する方策をとり、努力する。

審議の結果

- ◆17年度一般会計予算
- ◆一般会計補正予算
- ◆交通安全推進本部条例の一部を改正する条例
- ◆火災予防条例の一部を改正する条例

(すべて全員賛成)

委員長 多々見邦次
 副委員長 金田 正信
 委員 細井 昭勝
 猪村 博靖
 山田 孝一
 杉本 成一
 小笠原宏光
 竹内 幹雄
 表 長義
 高井 秀司
 森 大輔



統廃合が求められる保育園

水洗化率の

向上をめざせ

おもな質疑

沖津委員 四季まつりの予算内訳を詳細に。
酒井商工観光課長 夏まつりに約1千600万円、秋まつりに約200万円、冬まつりに約150万円、春まつりに約150万円の見込み。
西谷委員 既存小売商業活性化事業では、大型店対策を十分にせよ。
酒井課長 商工会と連携して、実施したい。
糺地委員 委託事業が多いが、削減に努力する考えはないか。
高井下水道課長 一括して発注した結果、相当減額になっている。合併の良い効果の一つと思う。
梅田委員 水洗化率を上げるための具体的な方策は何か。
高井課長 整備完了したところは、水洗化依頼のチラシを配布したが、今後は、個別にも対応を考えている。

小池田委員 水門管理人に対し、災害時、防災時のマニュアルを渡すなど、連絡体制は徹底されているか。また、周辺の除草を含んだの管理なのか。
高井課長 マニュアルは、地区に配布済み。周辺管理も含む。
大田委員 水田対策指導事業の中で、大豆・麦・そば・種子購入補助はなぜ減額なのか。
大西農林水産課長 産地づくり交付金での対応になったため。
西谷委員 高松インター付近の送水管の変更はなぜか。
山口下水道課長補佐 七塚と高松の境界は、高松側へ傾斜しており、自然流下。また、高松北部浄化センターは余力があり、高松側に水を流す予定。

審議の結果

- ◆17年度一般会計予算
- ◆17年度市営バス事業特別会計予算
- ◆17年度大海財産区特別会計予算
- ◆17年度下水道事業特別会計予算
- ◆17年度下水道事業特別会計補正予算(2号)
- ◆市営バス事業押水・宝達線運行に関する事務の受託
- ◆市営バス運行施設設備の区域外設置
- ◆市営バスの設置及び管理に関する条例の一部を改正する条例
- ◆市営バスの設置及び管理

◆特別職の職員で非常勤のもの報酬及び費用弁償に関する条例の一部を改正する条例

◆交流サロン施設条例の一部を改正する条例

◆共同福祉施設条例の廃止

◆都市公園条例の一部を改正する条例

◆市営住宅条例の一部を改正する条例

委員長 別宗 明敏
 副委員長 坂井 正朝
 委員 西谷 博英
 糺地 哲
 梅田 範文
 大田 昇
 沖津 千万人
 小池田 利治
 丹羽 厚志
 鶴見 静朗



ワイイ、大漁だ!
(ビーチフェスタ)

ウォッチング Watching in かほ



梅の花になごり雪、
のどかな春の陽を受け
気分もほのほの
野山の芽吹きを楽しむ



編集後記

市議会として、在任特
例1年2カ月、議員数44
人の議会が終了の日を迎
えました。

議会の内容など、皆様
にお知らせするために、
広報委員9人と、議長、
事務局の合計12人で、第
1号から第4号までの議
会だより作成にあたりま
した。スタッフに恵まれ、
充実して活動ができたこ
とを感謝します。
“分かりやすく、読ん

でいただける議会だより”
を目指し、事務局の負担
にならないよう、精一杯
の努力を重ねてきたと思
っています。

新しく委員になる方々
には、重要な議員活動の
一端として、最善の努力
と、『議会だより』の作
成に邁進し、より一層の
向上を期待しています。
最後になりましたが、
ご協力いただいた市民の
皆様にお礼を申し上げ、
今後とも引き続きご愛読
いただきますようお願い
します。



●次の定例会は6月です。

詳しい日程は、市広報（6月号）およびホーム
ページなどに掲載します。
本会議の傍聴をご希望の方は、当日、直接傍聴
受付までお越しください。